

美作国創生公募提案事業 事業成果報告書

1 事業名：美咲森芸2025文化芸術フォーラム
～美咲町の持続可能な文化芸術祭を考えよう～

2 実施団体：美咲芸術世界実行委員会

3 担当課：美作県民局 地域づくり推進課 振興班

4 事業概要

昨年令和6年度に実施した「美咲森芸2024」の参加団体12団体に加え、令和7年度においては、町内の文化芸術、農林業、教育、福祉などさまざまな団体に参加を募り、町内14団体の参加団体で実行委員会を組織し直し事業を実施した。いかにして町の持続可能な文化芸術祭を実施していくかを協議するための「美咲森芸2025 文化芸術フォーラム」を開催するにあたり、事前にアンケート調査を行い、あらゆる世代、あらゆる層が町の文化芸術についてどのように考えているかを分析し、フォーラムに臨んだ。また、この公開フォーラムにできるだけ多くの地域住民に興味関心を持ってもらえるように、実践例として、ステージイベントや講演会、アート作品展示や体験型のワークショップなどのプログラムを準備し、同会場で同時開催した。

2日間の日程で、最終的に6個のテーマを抽出した。その後、美咲森芸2025文化芸術フォーラム報告会を改めて実施し、アンケートやテーマ投票の集計結果を参加者で共有した。美咲森芸2027開催に向けて、持続可能な文化芸術祭とはどのようなものなのかについて、集計データをもとにその内容を記録集にまとめ、完成後に配布した。2027年開催予定の「森の芸術祭 晴れの国・岡山」に合わせ、「美咲森芸2027」開催を目指すための方向性を実行委員会や関係者、地域住民と確認することができた。

5 実施内容

1) 会期：

- ・事業実施期間：2025年5月1日～3月20日
- ・開催期間：2025年11月22日（土）～11月23日（日）
- ・開催式典：2025年11月22日（土）
- ・プレイベント：2025年10月25日（土）
- ・フォーラム報告会：2026年2月22日（日）

2)各種プログラムの実施：

<文化芸術フォーラム2日間のプログラム>

[第1部・1日目] 美咲森芸2025 文化芸術フォーラム

- ・ 9:00 開催式典：開会宣言、プログラム紹介
- ・ 9:30 ステージイベント：月の輪合唱団（合唱 9:30～9:50）、劇団アマンジャク（寸劇 10:00～10:20）、美咲桃太郎の会（紙芝居 10:30～10:50）
- ・ 11:00 会場内PRブース・作品展等の紹介
- ・ 11:30～13:00 昼休憩（会場内のフリー観覧）
- ・ 13:00 フォーラム前半：フォーラムの説明（13:00～13:20）、ワールドカフェ・意見交換（13:20～14:00）、休憩（14:00～14:15）
- ・ 14:15 フォーラム後半：意見集約（14:15～14:30）、テーマの絞り込み（14:30～14:45）、テーブルごとのまとめと発表（14:45～15:15）、抽出されたテーマを並べる（15:15～15:45）
- ・ 15:50 閉会

[第2部・2日目] 美咲森芸2025 文化芸術テーマ投票

- ・ 9:30 プログラム紹介、会場内PRブース・作品展等の紹介
- ・ 9:40 1日目のフォーラム報告、アンケート中間報告、テーマ投票の説明（9:40～10:20）
- ・ 10:30 ステージイベント：NPOやまさくら美咲里神楽団（動画放映10:30～10:50）、埴和郷史跡保存会（ミニ講演会 11:00～11:25、琴演奏 11:25～11:35）、月の輪の心を語りつぐ会（ミニ講演会 11:40～12:00）
- ・ 12:00～13:30 昼休憩（会場内のフリー観覧）
- ・ 13:30 美咲郷土かるた大会：美咲郷土かるたを活かす会（レクリエーション交流 13:30～15:30）
- ・ 15:40 美咲森芸文化芸術宣言、写真撮影
- ・ 15:50 閉会

<プレイベント>

ミサキアエルで美咲森芸 2025 プレイベント「シルクスクリーンワークショップ」を開催。参加者はさまざまなデザインから版をひとつ選んで好みのカラーインクでTシャツにプリントした。素敵な色合いのオリジナルTシャツができあがった。

<フォーラム報告会>

ミサキアエルにて美咲森芸 2025 文化芸術フォーラム報告会を開催し、アンケートやテーマ投票の集計結果を参加者で共有した。美咲森芸 2027 開催に向けて、持続可能

な文化芸術祭とはどのようなものなのかなどについて、集計データをもとに話し合った。

3) 参加団体：

月の輪合唱団、劇団アマンジャク、美咲桃太郎の会、オオハガ座芸農倶楽部、キタスキ、北和気郷土資料館、倭文の森アーティスト・イン・レジデンス実行委員会、NPO 法人やまさくら美咲里神楽団、埴和郷史跡保存会、月の輪の心を語りつぐ会、己書美伝守道場、クリニカルアートみさき、くるるみさき実行委員会、美咲郷土かるたを活かす会

※活動写真は別添「美咲森芸2025記録集」を参照

6 事業実施による成果、効果、今後の課題

(1) 成果、効果

<美咲森芸 2025 の成果>

◎住民の声の可視化：みんなの声をかたちに

アンケート・フォーラム・テーマ投票を実施し、地域住民の思いや課題意識を丁寧に確認できた。美咲森芸の方向性を共有し、今後の検討材料となり得るたくさん意見を蓄積できた。

◎参加団体と人脈の拡大：みんながつながる場に

フォーラムを通じて、これまで関わることがなかった文化芸術団体とも接点が生まれた。新たな人脈の広がりが得られ、次回の参加団体の増加も見込まれる。実行委員会やボランティアスタッフの人材発掘にもつながった。

◎共通課題の発見と土台づくり：みんなの思いをひとつに

「文化芸術」という言葉の敷居の高さ、移動時の不便、広報活動の難しさなど、多くの人が共通の課題を持っていることが分かり、また町全体で取り組む一体感の必要性も共有され、その受け皿となる土台づくりの重要性を確認できた。

(2) 今後の課題

<持続可能な文化芸術祭とは>

多くの資金を投じることを前提とするのではなく、今ある状態でどのようにベストを尽くすかを考えることが重要である。また、何事も継続させるためには「遊び心」や「楽しさ」がなければ続けたいという意味は生まれにくい。その「楽しさ」をどのように創出するかを常に考えて行く必要がある。

<美咲森芸 2027 に向けて>

2025 年は、住民の声を丁寧に集めながら参加団体の交流を促進し、美咲森芸が地域のつながりを生む場として機能し始めた。2027 年に向けて、美咲森芸が団体や人材をつなぐプラットフォームとなり、共感者と担い手を増やしながら収益性も含めた

持続可能な仕組みを検討し実践していきたい。

7 県民局と連携した効果及び課題

本年度事業においては、アンケート調査やテーマ投票などを通して周知や発信を行い、町の文化芸術祭への関心を高める機運を醸成することができたがまだまだ周知が行き渡っていないのが現状である。当委員会単独での広報活動だけでは、町外に発信することが難しい。広報活動の難しさが今後の課題である。

2027年の「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開催に向け、当実行委員会のような地域密着型の文化芸術祭についても、母体である「森の芸術祭」と連携した広報活動がなされることを期待する。

また、事業実施においては財源の確保が課題となるが、令和6年度、7年度と継続事業として美作国創生公募提案事業に採択されたことは大変ありがたい。次回2027年の「森の芸術祭」関連の事業実施に向け、連携プログラムの体制整備や助成事業の実施を期待する。

美咲森芸2025 文化芸術フォーラム記録集

開催期間：2025年11月22（土）～11月23日（日）

美咲町の持続可能な文化芸術祭を
みんなで考えよう



MISAKI.MORIGEI

月の輪合唱団

劇団アマンジヤク

美咲桃太郎の会

オオハガ座芸農倶楽部

キタスキ

北和気郷土資料館

倭文の森アーティスト・イン・レジデンス実行委員会

NPO法人やまさくら美咲里神楽団

併和郷史跡保存会

月の輪の心を語りつぐ会

己書美伝守道場

クリニカルアートみさき

くるみさき実行委員会

美咲郷土かるたを活かす会

美咲森芸2025文化芸術フォーラム 記録集

発行：美咲森芸実行委員会

編集：美咲森芸実行委員会・美咲芸術世界実行委員会事務局

〒709-3726岡山県久米郡美咲町大坪和西1024-7

デザイン：芦原哲也 (TERRA DESIGN) 印刷：株式会社一広

はじめに2P
美咲森芸2025文化芸術フォーラム【1日目】3P~4P
美咲森芸2025文化芸術フォーラム【2日目】5P~6P
美咲森芸アンケートとフォーラムテーマ投票7P~8P

美咲森芸2025文化芸術フォーラム報告会9P
おわりに10P

ご挨拶

「生まれ育ったこの町にこんなに誇れる歴史があったなんて驚きです。感動して鳥肌が立っています！」と半ば涙目でお話くださったのは、岡山市内から訪れてくださった参加者様です。

2025年11月22日・23日の2日間、美咲森芸2025文化芸術フォーラムを開催したところ町内各地から14もの団体の皆様に参加してくださいました。内容はこの記録集に目を通していただきたいのですが、特筆すべき点は次の2点でしょうか。

- ① 各種団体の活動を目の当たりにでき、お互いを知る機会になったこと。
② 普段はなかなか出会わない町民同士が交流でき、楽しい思い出ができたこと。

この美咲森芸企画の大きな目的は、町の文化芸術を守り、未来の子供たちに伝えて行くことです。今回のテーマは2027年に開催予定の「森の芸術祭 晴れの国・岡山」本番に向けて持続可能な文化芸術祭をみんなで作ることに設定しました。メイン企画はフォーラム形式での「美咲森芸テーマ案」の出し合いです。6グループからそれぞれのテーマを出し合ってくださいました。グループワークでは自由で未来志向な発想からとても熱量高く活気ある時間が流れていました。例えば、アートでつながり、融合循環し、思いやりと遊び心で祭りのようにわっしょいとポジティブ発想で良い所探しと探した員会に、お互いの価値観を尊重し合いながら理想とする想いを丁寧に言葉にしていく未来志向な共同作業ができました。

個性的で芸術的な感性に富んだ場面などさまざまなシーンが思い出されますが、大きな時間の流れで言うと、地域の歴史を知ることで先人たちがたくましく生きてきた姿が頭に浮かび、今を生きている私たちにエールを送ってくれているような感覚を覚えました。そして現代を生きている我々がさらに磨きをかけてその価値を次世代に伝えていけること自体が豊かで幸せなことなのかも知れないと思います。参加者皆様の笑顔と好奇心あふれる瞳からは、この地の未来に光を照らしてくれるものと感じることができ、そんな2日間となりました。美咲森芸でいただいたご縁を、これからの地域文化芸術の振興と共にさらに大きくたくましく育てていきたいと思っております。今後とも協力よろしくお願いたします。

最後になりましたが、美咲森芸2025に関わり応援していただいたたくさんの方々に感謝申し上げます。

美咲森芸実行委員会 委員長 矢木公久



Map 参加団体



美咲森芸2025文化芸術フォーラム【1日目・2025年11月22日(土)】

開催式典&ステージイベント

◎開催場所：美咲町生涯学習センター2階（美咲町中央公民館）
 （住所：美咲町原田3100-1）
 ◎開催日時：【1日目】2025年11月22日（土）9時～12時

〈プログラム〉

多目的スペースにて開催式典を開催し、その後ステージイベントを行った。ステージイベントでは、月の輪合唱団の台唄、劇団アマンジャクの寸劇、元祖美咲桃太郎伝説大型ロール紙芝居の上演を行った。その他、参加団体が各所にPRブースを設け、作品や資料の展示、モニターを使用した動画放映などを行い、団体の紹介を行った。（開催式典参加者数 18人、ステージイベント来場者・参加者数 100人）



月の輪合唱団



劇団アマンジャクの寸劇



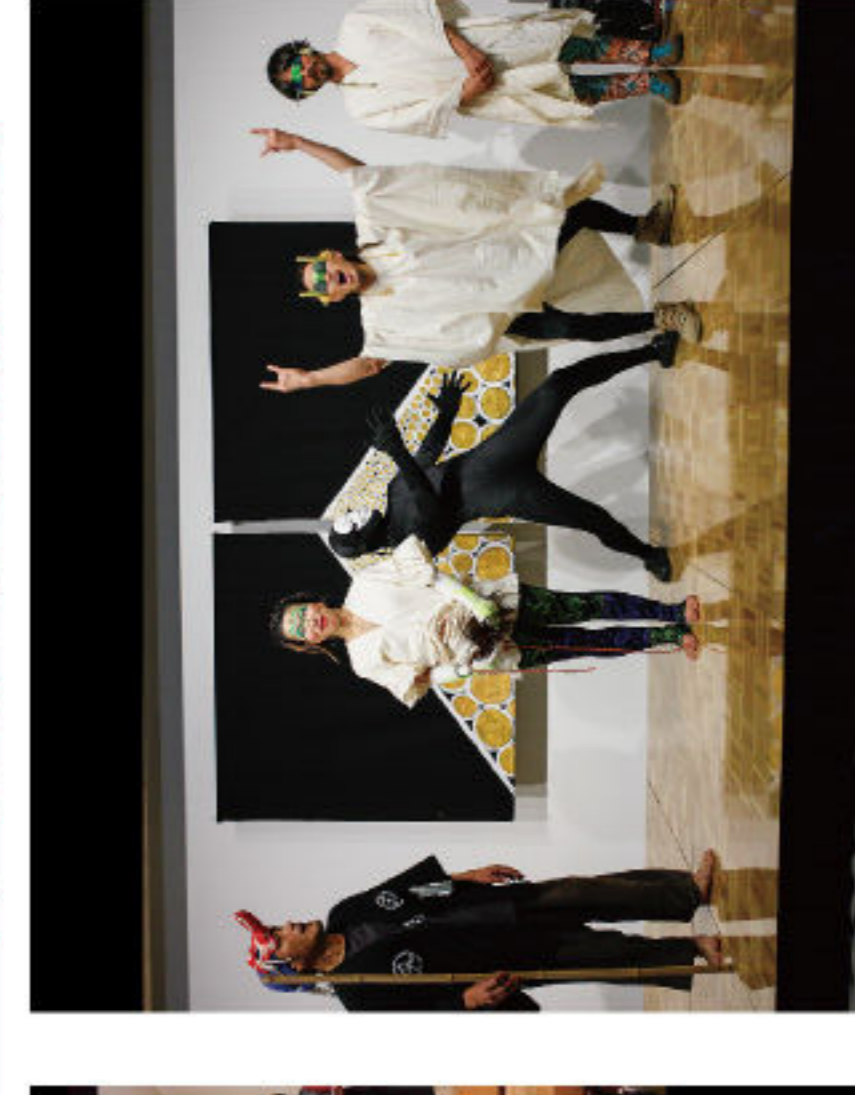
元祖美咲桃太郎伝説大型ロール紙芝居の上演

美咲森芸2025参加団体の紹介



① 月の輪合唱団

飯岡地区にある月の輪古墳の麓を拠点に、月の輪古墳をテーマにした組曲を中心に平和や暮らしに根ざした内容の歌を演奏している。



② 劇団アマンジャク

美咲町大井和地区に伝わる昔話「アマンジャクの屋とじり」をテーマとした舞台演劇を世界に発信。地域の文化芸術と現代アートの融合を目指している。



③ 美咲桃太郎の会

美咲町に古くから伝わる桃太郎伝説を後世に伝えるとともに、歴史や文化の地域資源として活用し、地域の発展と活性化に寄与することを目的としている。



④ オオハガ産芸農倶楽部

久米郡最高峰二上山古道の整備活動を会員で行い、トレッキングツアーを随時開催。美咲町大井和地区の里山をフィールドとした生き物観察会や生き物調査にも取り組む。

文化芸術フォーラム

◎開催場所：美咲町生涯学習センター2階（美咲町中央公民館）
 （住所：美咲町原田3100-1）
 ◎開催日時：【1日目】2025年11月22日（土）13時～16時

〈プログラム〉

多目的スペースにて文化芸術フォーラムを開催。2027年に開催が決定した「森の芸術祭 晴れの国・岡山」。2027年に美咲町でどんな芸術祭を開催するかをみんなで話し合い、6個のテーマを抽出した。（参加者数 36人）



ステージイベントや作品展示、ワークショップを実施しながらプレゼンテーションを行い、小中学生や大学生も参加したフォーラムで6個のテーマが出そろった。



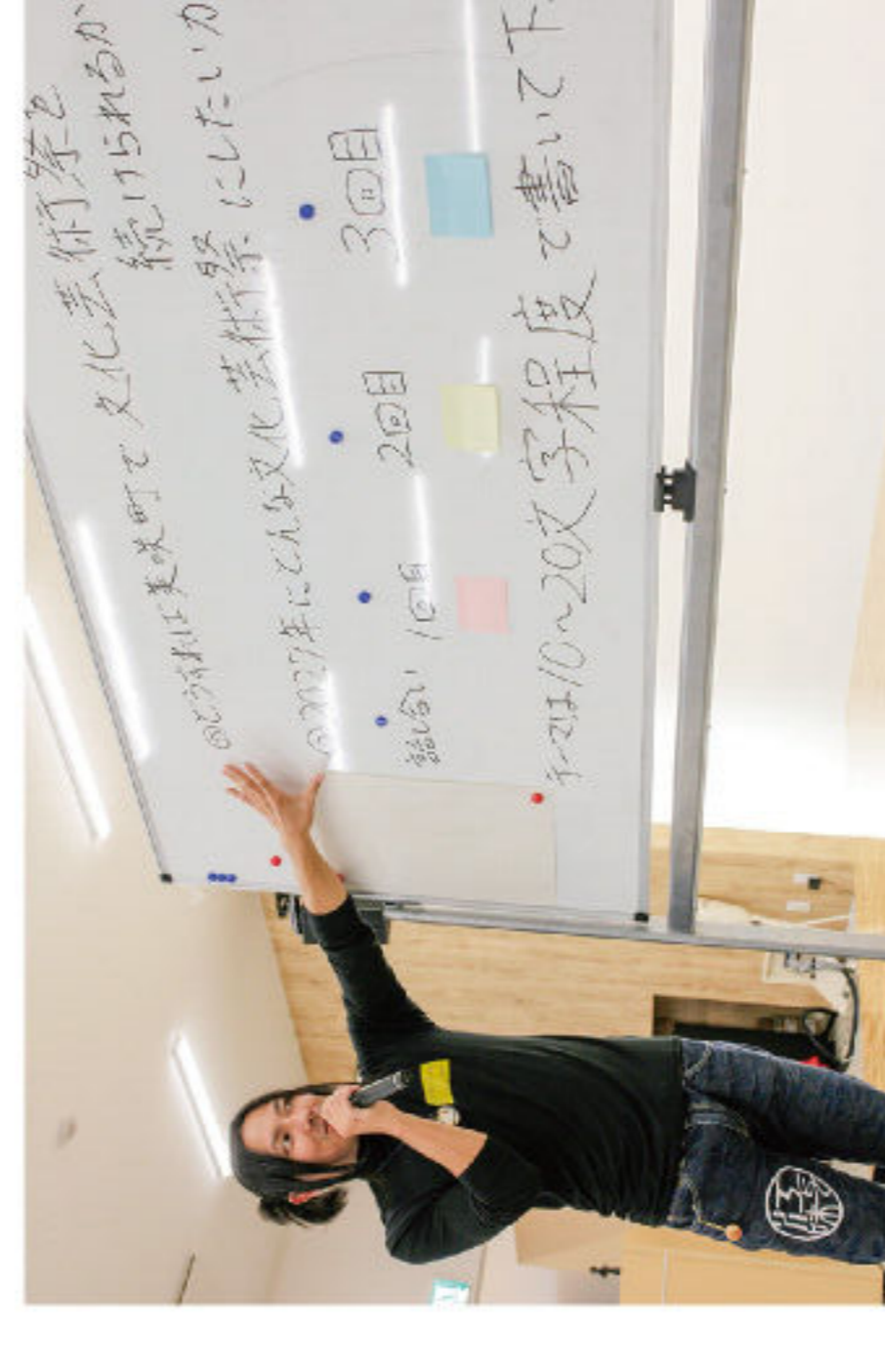
町のいろいろなところに集める場所があれば



美咲町は広いのでアート巡回バスを走らせては



6つのテーブルに分かれて話し合い、テーブルごとにまとめを発表



持続可能な美咲町の文化芸術祭とは？

美咲森芸2025参加団体の紹介



⑤ キタスキ

自然の中に入り生活に使える素材を自ら採取し、それを加工することやヒトと自然の関わり方、道具の扱い・管理・修繕の知恵を体系的に学ぶことで人生の新たな糧となれば。



⑥ 北和気郷土資料館

郷土の民俗資料、文化芸術作品の展示・企画展、郷土坑貝の保存・継承活動等を通して、芸術の振興を図っている。



⑦ 倭文の森 実行委員会

美咲町北地区の元ゴルフ場跡地に点在するログハウス群を生かしてアートクラフト、音楽イベントやマルシェなどを開催。地域住民が憩える森づくりを進めている。



PRブースでモニターを使用して団体の紹介動画を放映

美咲森芸2025文化芸術フォーラム【2日目・2025年11月23日(日)】



ステージイベント

◎開催場所：美咲町生涯学習センター2階（美咲町中央公民館）
（住所：美咲町原田3100-1）
◎開催日時：【2日目】2025年11月23日（日）10時半～12時

〈プログラム〉

多目的スペースにてステージイベントを行った。ステージイベントでは、NPO法人やまさくら美咲里神楽団の動画放映、美咲森芸2025文化芸術フォーラムの輪の心を語りつぐ会のミニ講演会を行った。その他、参加団体が各所にPRブースを設け、作品や資料の展示、モニターを使用した動画放映などを行い、団体の活動の紹介を行った。（来場者・参加者数84人）



美咲森芸2025文化芸術フォーラム



月の輪の心を語りつぐ会のミニ講演会



美咲森芸2025文化芸術フォーラム



美咲森芸2025文化芸術フォーラム



美咲森芸2025文化芸術フォーラム会場



美咲森芸2025文化芸術フォーラム会場

Workshop 美咲森芸2025参加団体の2日間の体験ワークショップを実施。（参加者数47人）

学習スペースにて、美咲森芸2025参加団体が2日間の体験ワークショップを実施。（参加者数47人）



クリニカルアート（臨床美術）の作品展示とワークショップを実施。色鉛筆を使った「フォルメン」を使った自由な心で自由に描く気持ち良さ、発見する面白さを発見する体験ワークショップ。（企画：クリニカルアートみさき）



己書ワークショップ



「天使の羽」ワークショップ

切り紙作家による「天使の羽」ワークショップを実施。参加者が制作した羽を自身の背中に貼る体験ワークショップ。大型の天使の羽を設置してフォトスポットとしてみさき実行委員会。（企画：くるみさき）

美咲森芸2025参加団体の紹介



8 NPO 法人やまさくら美咲里神楽団

障害を持たれている方々の社会生活を支援する事業者。支援活動の1つに地域文化の継承として神楽部門を創設し、面作りから舞に至るまで取り組んでいる。



9 珙和郷史保存会

竹内流を始めとする珙和郷の歴史について調査研究および発信を行い、地域の活性化をはかる。



10 月の輪の心を語りつぐ会

月の輪古墳発掘に取り組んだ精神に学び、その心を次の世代や多くの人たちに語りつぐ活動を行っている。



11 己書美伝守道場

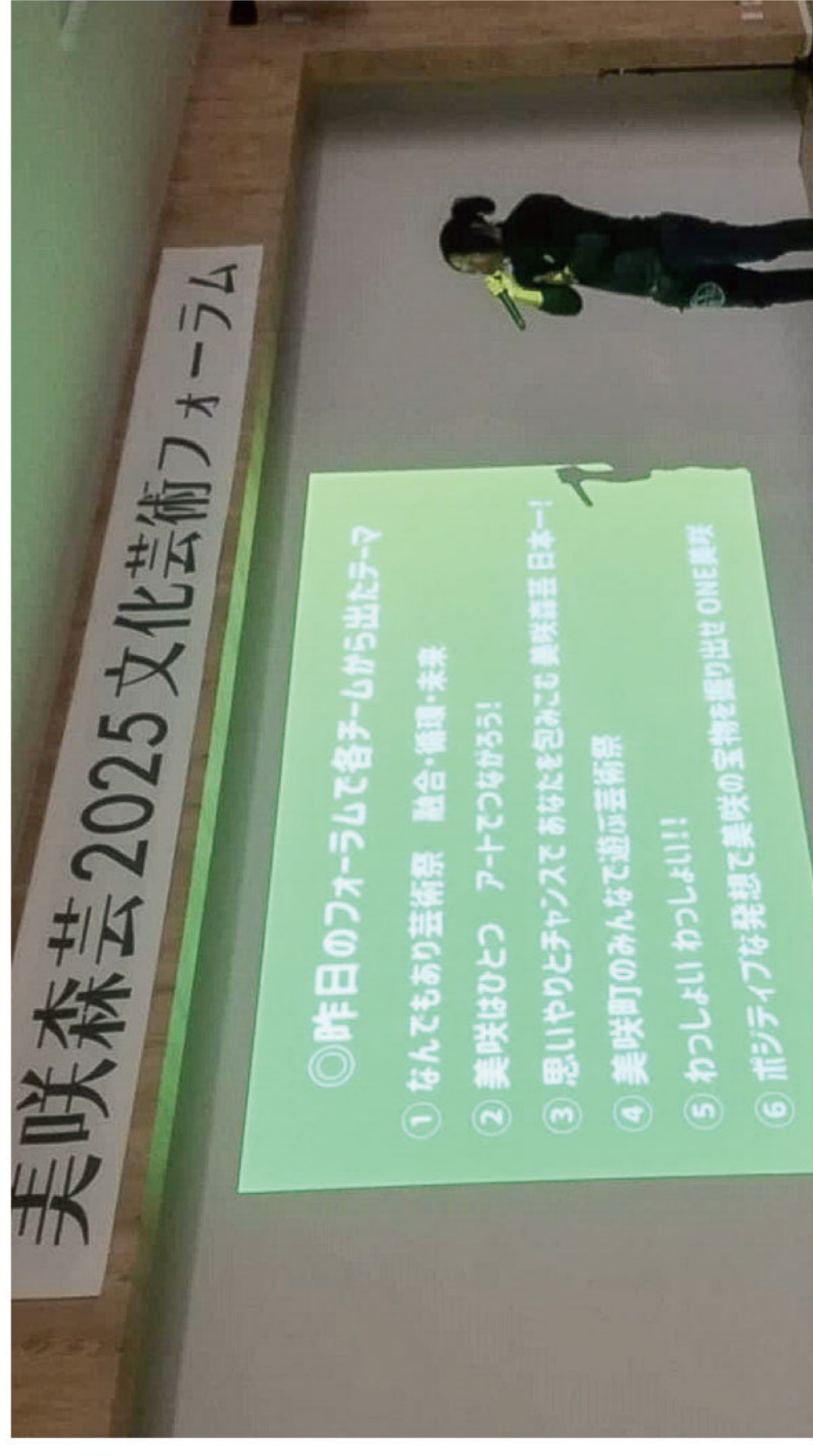
デジタルの時代に敢えて筆で書くだけの己書教室を美咲町内外でしている。心がホッと温かくなる魅力のある書の教室を各地で開催。

アンケート中間報告とフォーラムテーマ投票

◎開催場所：美咲町生涯学習センター2階（美咲町中央公民館）（住所：美咲町原田3100-1）
◎開催日時：【2日目】2025年11月23日（日）9時～16時

〈プログラム〉

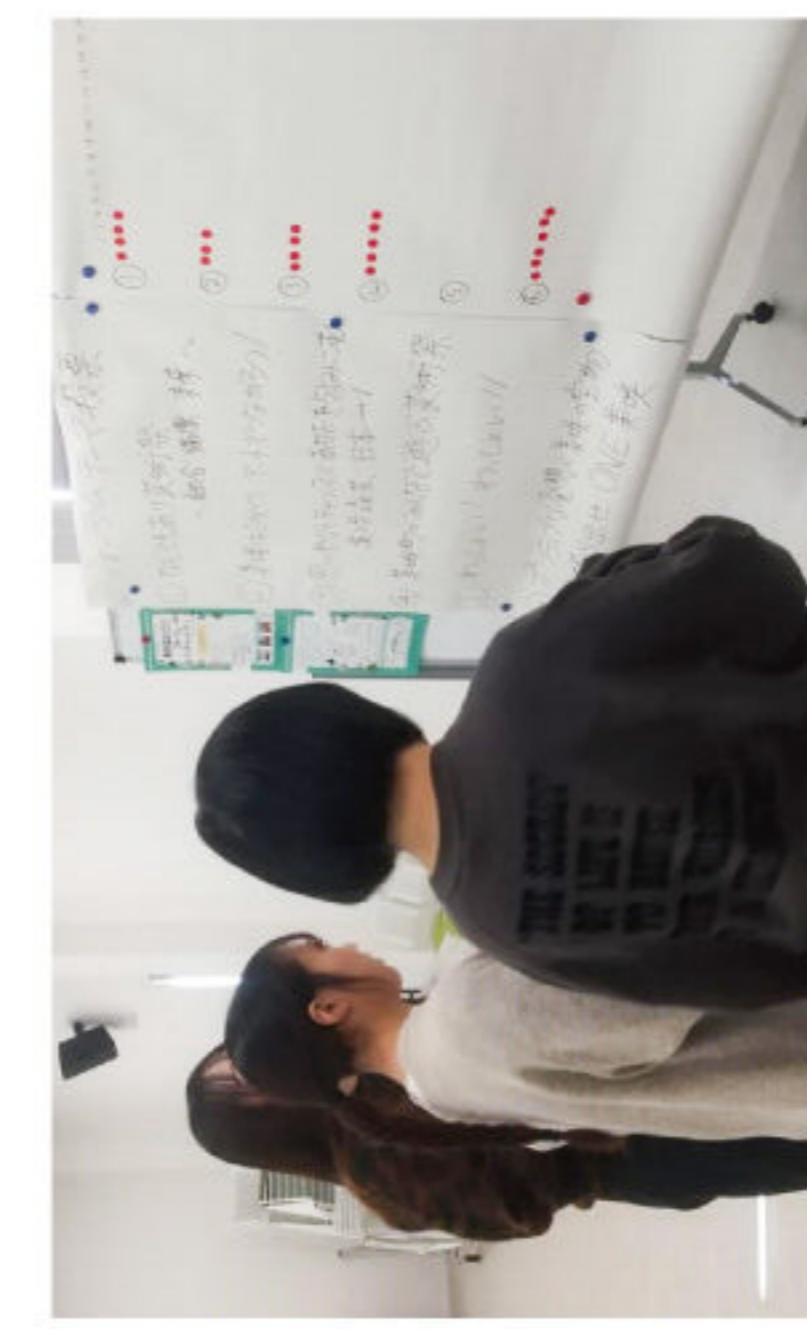
多目的スペースにて1日目のフォーラムの成果報告を行った。実行委員会メンバーがアンケートの中間報告を行うとともにフォーラムで抽出された6個のテーマを解説し、テーマ投票の方法を説明した。（参加者数18人）



1日目の文化芸術フォーラムの成果報告で6個のテーマを発表



フォーラム会場で見学者がテーマ投票



みんなで作り上げる芸術祭を目指して

Karuta Tournament 美咲郷土かるた大会 【2025年11月23日(日)】

多目的スペースにて、レクリエーション交流として美咲郷土かるた大会を行った。2日間の美咲森芸2025文化芸術フォーラム最終プログラム。（参加者50人）



美咲郷土かるた大会



クラウドファンディングの成功で手作りりのリニューアルかるたが誕生

美咲森芸2025参加団体の紹介



12 クリニカルアートみさき

クリニカルアート（臨床美術）は、五感大切に感じてそのまま自分らしく表現をします。オイルパステル・絵の具・色鉛筆や粘土などを使ってハイレベルに富んだ体験講座を「アート&カフェサロン」として毎月開催。



13 くるみさき実行委員会

2024年、美咲町で開催された「アートで地域づくり実践講座」を契機に立ち上げ、美咲町ゆかりのアートフェスタを発掘・紹介し、地域に文化の循環を育むことを目指している。



14 美咲郷土かるたを活かす会

「美咲郷土かるた」の製作および普及を通して美咲町の歴史や文化を後世に伝えるとともに、それを地域資源として活用し地域の発展と活性化に寄与することを目的としている。



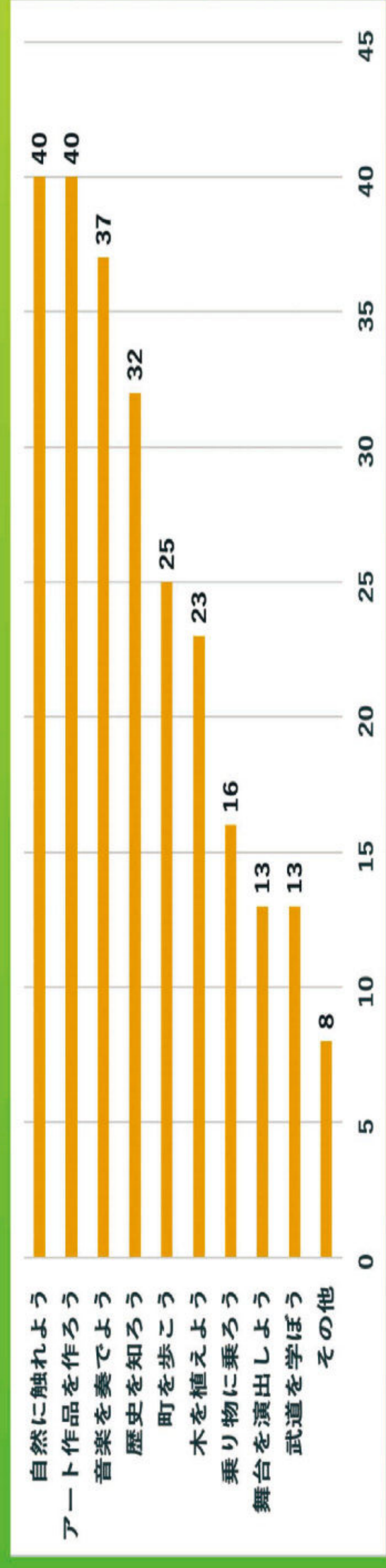
クラウドファンディングのチラシ

美咲森芸アンケート集計結果

みなさんから寄せいただいたアンケートの分析調査を行いました。

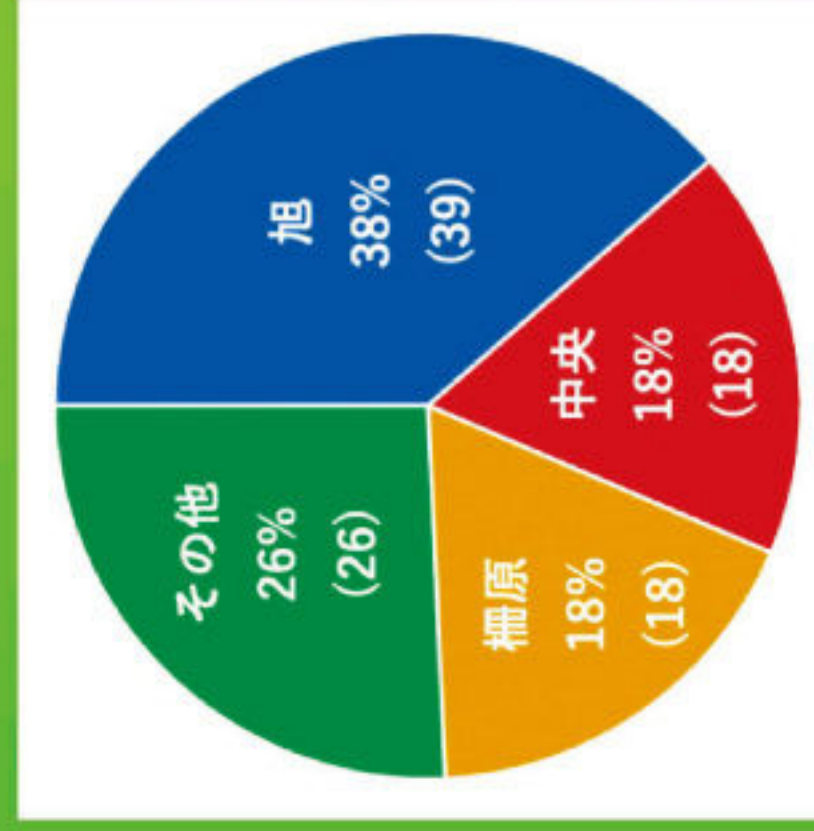
美咲森芸2027のテーマ。気になるものは？

N=247
※複数選択可



お住まいの地域

N=101



年代

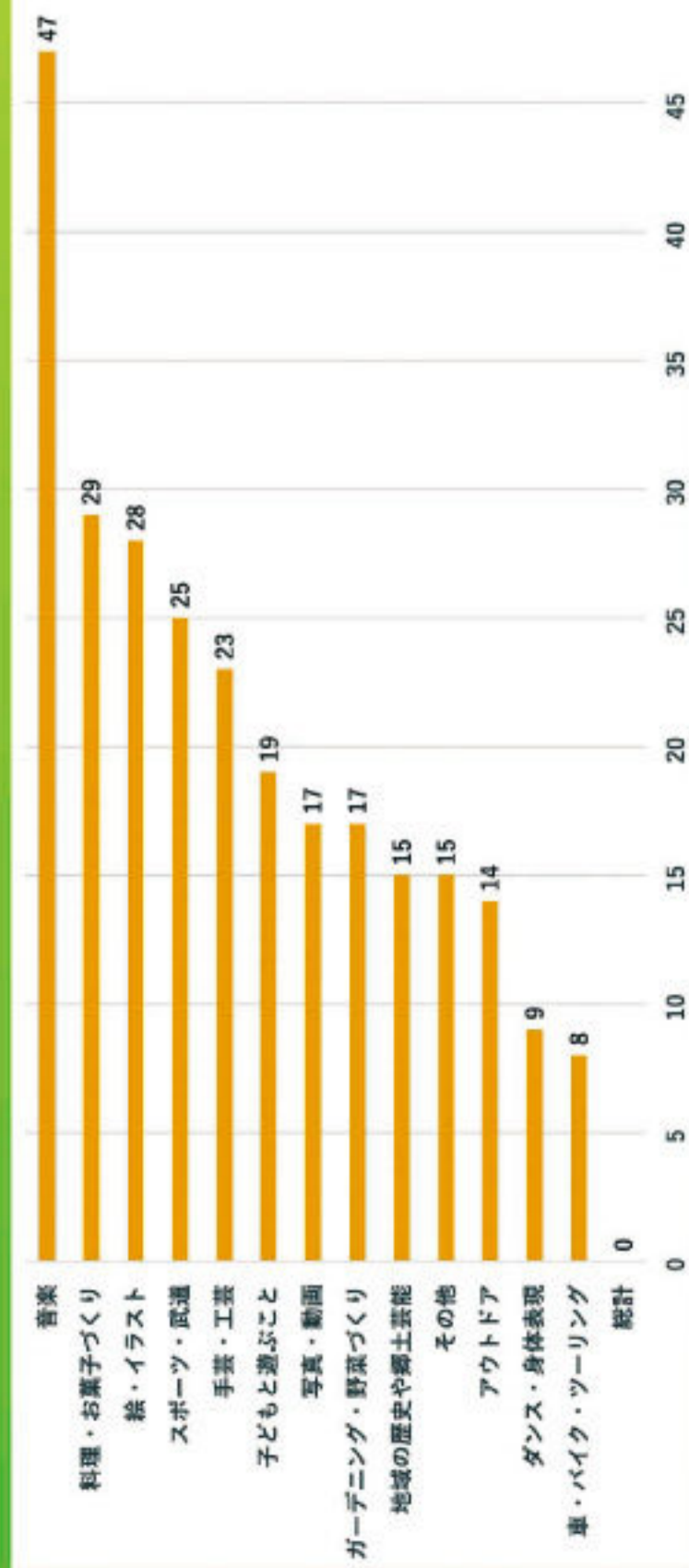
N=101



好きなこと・得意なこと

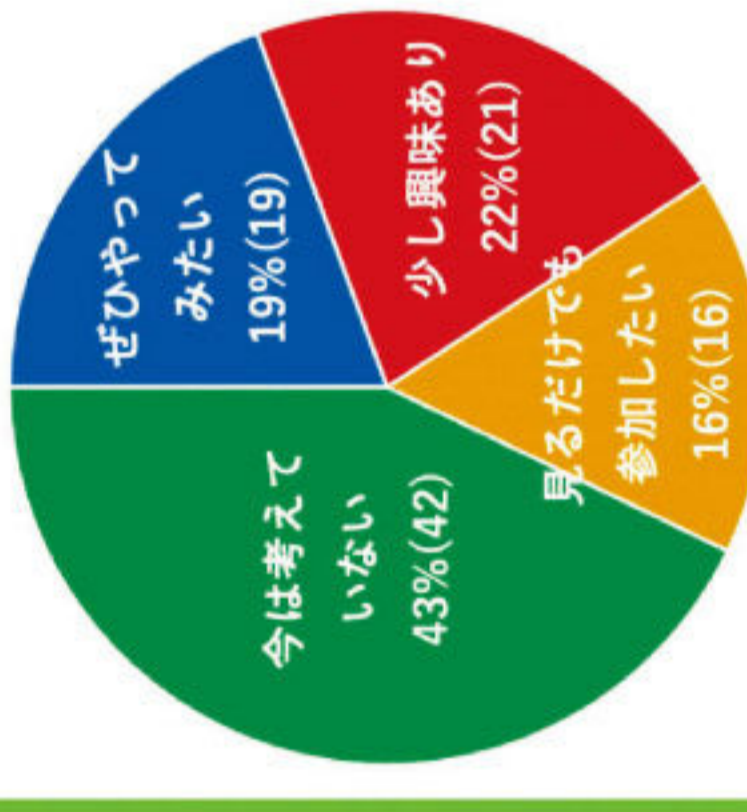
N=266

※複数選択可



披露できる場があればやってみたいか？

N=98



あなたが美咲森芸のテーマを考えるとしたら？

「体験・参加型」型 (19件) 「自然と共生・森」型 (12件) 「地域・歴史・人の繋がり系」型 (10件) 「芸術・文化・民藝系」型 (8件)

- 誰かの人生を聞こう
- 昔の料理
- 地域の歴史
- 外国人と交流
- 美咲町を歩いて発見 など

- 森
- 自然と森の融合
- 自然の物をつかって作品をつくろう
- 木を使って何かをつくってみよう
- 森に生き 森を活かす 美咲森芸
- 森に響む など

「子ども・未来系」型 (6件)

- 子どもたちへつなごう
- 未来を語ろう
- みんなで生命を楽しもう
- みんなの力でつくりあげよう など

まとめ

- 「体験・参加型」(35%)が最も多く、次に「自然」「地域・人とのつながり」が並ぶ。
- 全体的に「共に」「感じる」
- 「地域に根ざす」といった方向性がある。

Opinion みんなの声

さまざまなご意見ありがとうございました。

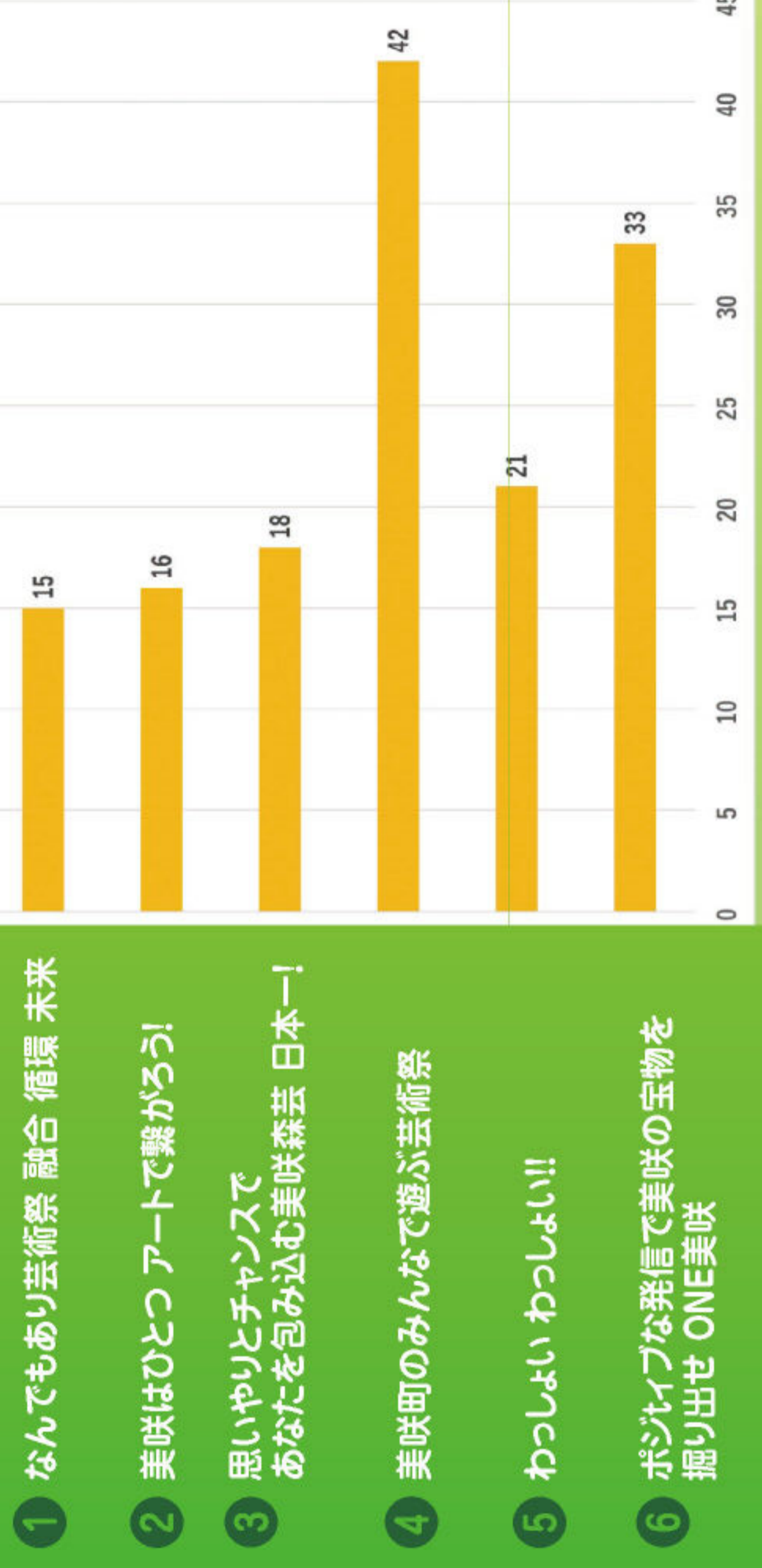
みなさんの声を「美咲森芸 2027」開催に向けて役立てます！

- ・美咲の文化を次世代にどうつなげていくかが鍵。
- ・文化芸術という言葉がなじみにくい。
- ・自分の活動を発表する場があればやる気が出る。
- ・町内の面白い活動を発信している人の輪が広がれば。
- ・美咲森芸が楽しい出会いの場になって欲しい。
- ・美咲森芸を通して美咲町がひとつになれば。

フォーラムテーマ投票

フォーラムで出た6個のテーマをフォーラム会場で投票しました。また、アンケート用紙でテーマ投票ができるように改定し、美咲町の全世帯に配布してアンケート調査を継続しました。その他、町内小中学校にも配布し、町内3つの図書館にアンケートBOXを設置しました。さらに、SNSでの広報活動も行い、アンケートフォームQRからもアンケートや投票ができるように配慮しました。

フォーラム6つのテーマ。気になるものは？



アンケート回答数・テーマ投票数



来場者・参加者数

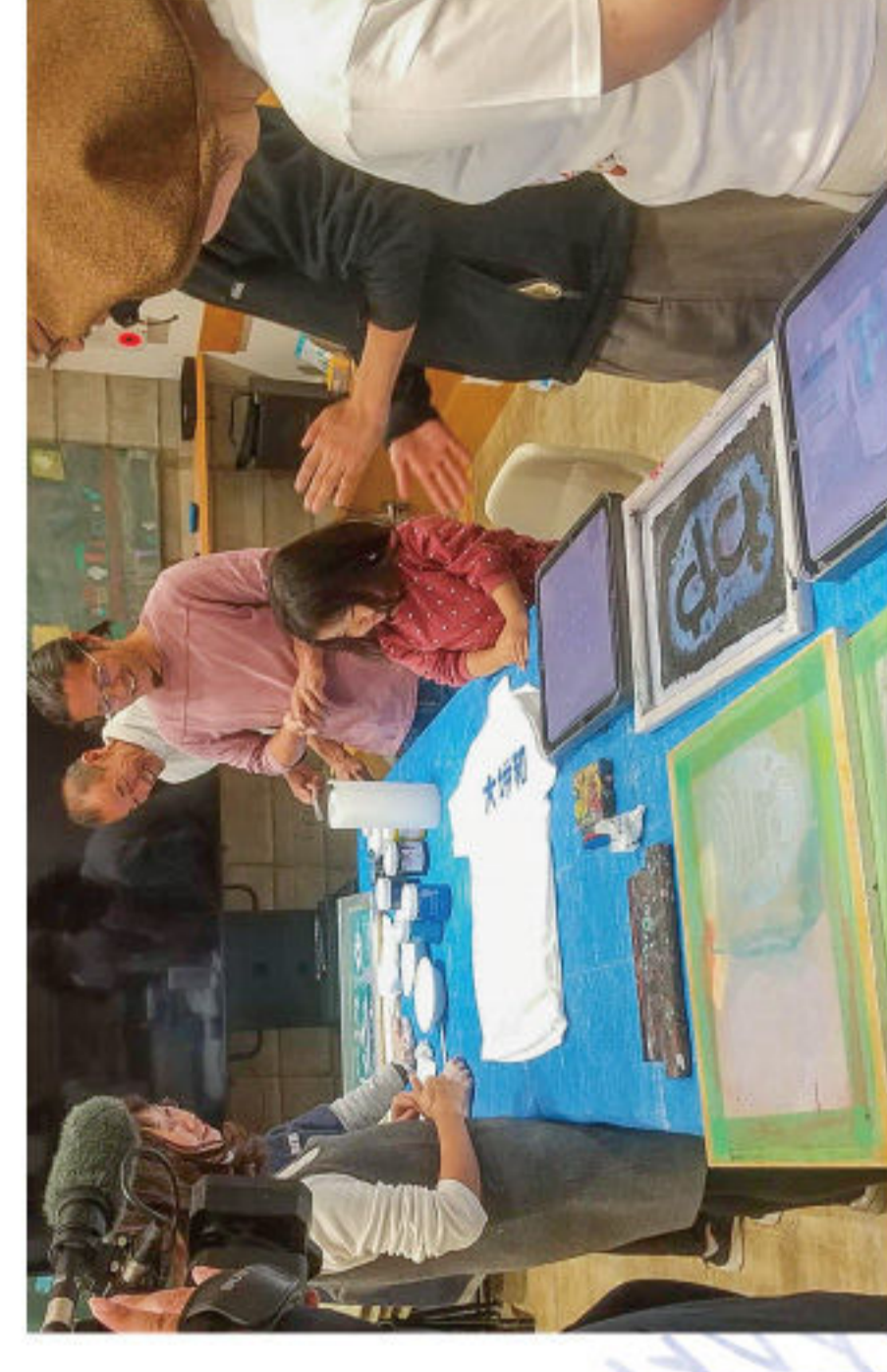
来場者・参加者数	来場者・参加者数	来場者・参加者数	来場者・参加者数
閉会式観参加者数	184名	ワークショップ参加者数	47名
ステージイベント参加者数	50名	PRブース参加者数	373名
フォーラム関連参加者数	54名	プレイベント参加者数	20名
美咲博士会大大会参加者数	50名	来場者・参加者数合計	746名

Pre event プレイベント

10月25日、ミサキアエルで美咲森芸2025プレイベント「シルクスクリューワークショップ」を開催。参加者はさまざまなデザインから版をひとつ選んで好みのカラーインクでTシャツにプリントした。素敵な色合いのオリジナルTシャツができあがった。(参加者20人)



ミサキアエルでシルクスクリューワークショップ



いろいろなデザインから自分好みの版を選ぶ



自分だけのオリジナルTシャツが完成

改訂版投票アンケート



町内3か所の図書館に設置したアンケートBOX



みさき広報に投票アンケートを折り込み



プレイベントの会場「ミサキアエル」

美咲森芸2025 文化芸術フォーラム報告会

◎開催場所：ミサキアエル（住所：美咲町原田1722）
◎開催日時：2026年2月22日（土）10時～12時

ミサキアエルにて美咲森芸2025文化芸術フォーラム報告会を開催し、アンケートやテーマ投票の集計結果を参加者で共有した。美咲森芸2027開催に向けて、持続可能な文化芸術祭とはどのようなものなのかなどについて、集計データをもとに話し合った。

美咲森芸2025の成果

◎住民の声の可視化
みんなの声を
かたに

アンケート・フォーラム・テーマ投票を実施し、地域住民の思いや課題意識を丁寧に確認できた。美咲森芸の方向性を共有し、今後の検討材料となり得るたくさんの意見を蓄積できた。

◎参加団体と
人脈の拡大

フォーラムを通じて、これまで関わることがなかった文化芸術団体と接点が生まれた。新たな人脈の広がりが得られ、次回の参加団体やボランティアスタッフの増加も見込まれる。

◎共通課題の
発見と土台づくり

文化芸術という言葉の敷居の高さ、移動時の不便、広報活動の難しさなど共通課題を発見できた。また、町全体で取り組む一体感の必要性やその受け皿となる土台づくりの重要性を確認できた。

みんなの思いを
ひとつに

多くの資金を投じることを前提とするのではなく、今ある状態でものでものを尽くすかを考えることが重要である。また、何事も継続させるためには「遊び心」や「楽しさ」がなければ続けないという意思は生まれない。その「楽しさ」をどのように創出するかを常に考えていく必要がある。

美咲森芸2027に向けて

2025年は、住民の声を丁寧に集めながら参加団体の交流を促進し、美咲森芸が地域のつなかりを生む場として機能し始めた。2027年に向けて、美咲森芸が団体や人材をつなぐプラットフォームとなり、共感者と担い手を増やしながら収益性も含めた持続可能な仕組みを検討し実践していきたい。

美咲町版森の芸術祭 美咲森芸とは？

2024年に開催された「森の芸術祭 晴れの国・岡山」を契機とし、同年、美咲町版森の芸術祭として初めて「美咲森芸2024」を開催。町内の文化的なつながりを育みながら町ににぎわいを創出することを目的として、町内の文化芸術、農林業、教育、福祉などさまざまな分野の団体が連携し、地域資源を活かした文化芸術振興に貢献することができた。その翌年2025年には、「美咲町の持続可能な文化芸術祭を考えよう」をテーマとし、「美咲森芸2025 文化芸術フォーラム」を開催するに至った。

森の芸術祭 晴れの国・岡山とは？

「森の芸術祭 晴れの国・岡山」は、12市町村（津山市、高梁市、新見市、真庭市、美作市、新庄村、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町）を舞台に開催する国際芸術祭。新たな切り口で地域の魅力を引き出し非日常の特別な体験を提供するアート作品の展示や関連イベントの開催などを行うことで、芸術祭を核とした周遊型の観光振興や交流人口の拡大、シビックプライドの醸成を図っている。2024年に初めて開催され、次期開催は2027年に決定している。



森の芸術祭
FRIENDS
PROGRAM

～持続可能な文化芸術祭を目指して～

「森の芸術祭が3年後も行われることになったので、また力を貸してほしい。」

美咲森芸の発起人である「楽画鬼」さんから、その連絡が来たときは正直驚いた。瀬戸内国際芸術祭に対する岡山県北部のイベントの意地だとしても、この美咲町でそんなことが続けられるのかという疑問は絶えなかった。

しかしさざ動きしてみると、自分の目が節穴だったことに気が付かされた。美咲町にはこんなにも魅力があったのだと。その一つ一つは蛍のように、小さな光が明滅しているようだった。美咲町は東西のさまざまな地域が合併してできたため、ひとくくりの町なのに全く異なる気色を持つかなり稀な場所だと思っている。だからこそがこの場所の魅力なのだと改めて実感した。本当はどこかで活動をしている人たちがいるかもしれないのになぜ見つからないのだろう。そのもどかしさ、渴きをひどく感じたが、焦ってはいけい。美咲森芸は持続可能な文化芸術祭を目指す。

続けられたい 無理なく 無駄なく

さも当たり前のように 昔からそうあったかのように さりげなく

美咲町の各地で毎年祭りが行われているように

「美咲森芸」が各地の垣根を取り去り、唯一の祭りとして頼まれる日が来るように

美咲森芸実行委員会 副委員長 渡邊翔太



美咲森芸2025文化芸術フォーラム



【主催】美咲森芸実行委員会

【後援】美作県民局 美咲町 美咲町教育委員会

【助成】令和7年度美作国創生公募提案事業

【協力】美咲町文化連合会 久米郡森林組合 久米郡商工会 大井和みどりの少年隊
NPO法人ファミリアーリングあゆむ ノートルダム清心女子大学

【美咲森芸実行委員会・美咲芸術世界実行委員会事務局】

〒709-3726 岡山県久米郡美咲町大井和西1024-7 TEL:080-1392-5917

e-mail : misakimorigei@gmail.com



MISAKI.MORIGEI